

シラバス参照

科目名	生活支援技術
担当教員	相沢 和臣 五十嵐 あけみ 五十嵐 修平 本間 美幸
開講時期・曜日・時限	後学期 火曜日 4講時 後学期 火曜日 5講時
配当年次	1年
単位数	2
全開講対象学科	2023年度 大学 生涯スポーツ学部 健康福祉学科 2023年度 大学 生涯スポーツ学部 健康福祉学科 社会福祉コース 2023年度 大学 生涯スポーツ学部 健康福祉学科 スポーツ健康コース 2023年度 大学 生涯スポーツ学部 健康福祉学科 介護福祉コース 2022年度 大学 生涯スポーツ学部 健康福祉学科 2022年度 大学 生涯スポーツ学部 健康福祉学科 社会福祉コース 2022年度 大学 生涯スポーツ学部 健康福祉学科 スポーツ健康コース 2022年度 大学 生涯スポーツ学部 健康福祉学科 介護福祉コース 2021年度 大学 生涯スポーツ学部 健康福祉学科 2021年度 大学 生涯スポーツ学部 健康福祉学科 健康・介護福祉コース 2021年度 大学 生涯スポーツ学部 健康福祉学科 社会福祉コース 2020年度 大学 生涯スポーツ学部 健康福祉学科 2020年度 大学 生涯スポーツ学部 健康福祉学科 健康・介護福祉コース 2020年度 大学 生涯スポーツ学部 健康福祉学科 社会福祉コース 2024年度 大学 生涯スポーツ学部 健康福祉学科 スポーツ健康コース 2024年度 大学 生涯スポーツ学部 健康福祉学科 社会福祉コース 2024年度 大学 生涯スポーツ学部 健康福祉学科

シラバス

予・復・レポ

掲示板

授業の目的 (ねらい)	生活支援技術では、介護を必要とする方(要介護者)の尊厳を保持し、その人らしい自立した生活を支えるための介護技術や知識を学びます。要介護者の持てる力を最大限に発揮し生活していただくために、介護技術の原理・原則およびその根拠となる知識の修得が必要です。 それらとともに、初任者研修関連科目の学びを統合して、総合的な実践力を身につけることをねらいとします。
授業の目的 (到達目標)	1) 家事援助の機能と基本原則について説明できる。 2) 生活支援技術で学ぶ基本的な介護技術を実践できる。 3) 要介護者個々の状況と意向を踏まえた介護技術を考えることができる。 4) 生活場面における環境整備について、要介護者の尊厳と自立の視点で列挙できる。 5) 人生の最終段階「尊厳ある死」について、その考え方や対応の仕方などを概説できる。
第1回 授業の計画 (テーマ)	生活と家事1
(計画内容)	生活を継続していくための家事の重要性を学び、家事援助は利用者にとってどのような意味があるのかを理解します。(五十嵐あけみ)
(授業時間外 の学修内容)	指定したテキストの第2章第1節および第8節を読んでおくこと。
(学習形態(授 業の進め方、 指導方法))	講義・演習・実技
第2回 授業の計画 (テーマ)	生活と家事2
(計画内容)	調理・洗濯・掃除などの家事援助に関する基本的技術を実践的に学びます。(五十嵐あけみ)
(授業時間外 の学修内容)	指定したテキストの第2章第1節および第8節を読んでおくこと。

(学習形態(授業の進め方、指導方法))	講義・演習・実技
第3回 授業の計画 (テーマ)	快適な居住環境と介護1
(計画内容)	安心して快適に生活するために必要な環境の整備とは何か、住宅改修や福祉用具を利用する意味や視点を学びます。(五十嵐あけみ)
(授業時間外の学修内容)	指定したテキストの第2章第2節を読んでおくこと。
(学習形態(授業の進め方、指導方法))	講義・演習・実技
第4回 授業の計画 (テーマ)	快適な居住環境と介護2
(計画内容)	住まいにおける安心・快適な室内環境の確保の仕方について、実践的に学びます。(五十嵐あけみ)
(授業時間外の学修内容)	指定したテキストの第2章第2節を読んでおくこと。
(学習形態(授業の進め方、指導方法))	講義・演習・実技
第5回 授業の計画 (テーマ)	移動・移乗に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護1
(計画内容)	移動・移乗に関する基礎知識を学びます。(五十嵐あけみ)
(授業時間外の学修内容)	指定したテキストの第2章第4節を読んでおくこと。
(学習形態(授業の進め方、指導方法))	講義・演習・実技
第6回 授業の計画 (テーマ)	移動・移乗に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護2
(計画内容)	移動・移乗に関する福祉用具とその活用方法について学びます。(五十嵐あけみ)
(授業時間外の学修内容)	指定したテキストの第2章第4節を読んでおくこと。
(学習形態(授業の進め方、指導方法))	講義・演習・実技
第7回 授業の計画 (テーマ)	移動・移乗に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護3
(計画内容)	利用者・介助者にとって負担の少ない移動・移乗の支援について学びます。(五十嵐あけみ)
(授業時間外の学修内容)	指定したテキストの第2章第4節を読んでおくこと。
(学習形態(授業の進め方、指導方法))	講義・演習・実技
第8回 授業の計画 (テーマ)	移動・移乗に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護4
(計画内容)	移動・移乗を阻害する要因を理解し、その支援方法を学びます。(五十嵐あけみ)

(授業時間外の学修内容)	指定したテキストの第2章第4節を読んでおくこと。
(学習形態(授業の進め方、指導方法))	講義・演習・実技
第9回 授業の計画 (テーマ)	移動・移乗に関連したところからのしくみと自立に向けた介護5
(計画内容)	移動に関連する社会参加の留意点を学び、その支援方法を理解します。(五十嵐あけみ)
(授業時間外の学修内容)	指定したテキストの第2章第4節を読んでおくこと。
(学習形態(授業の進め方、指導方法))	講義・演習・実技
第10回 授業の計画 (テーマ)	食事に関連したところからのしくみと自立に向けた介護1
(計画内容)	食事に関する基礎知識、食事の必要性と心身機能の低下が食事に及ぼす影響を理解します。(五十嵐あけみ)
(授業時間外の学修内容)	指定したテキストの第2章第5節を読んでおくこと。
(学習形態(授業の進め方、指導方法))	講義・演習・実技
第11回 授業の計画 (テーマ)	食事に関連したところからのしくみと自立に向けた介護2
(計画内容)	利用者本人の力を活用し、食事の介護を行うための技術を身につけます。(五十嵐あけみ)
(授業時間外の学修内容)	指定したテキストの第2章第5節を読んでおくこと。
(学習形態(授業の進め方、指導方法))	講義・演習・実技
第12回 授業の計画 (テーマ)	食事に関連したところからのしくみと自立に向けた介護3
(計画内容)	食事環境の整備と食事に関連する用具の活用方法について学びます。(五十嵐あけみ)
(授業時間外の学修内容)	指定したテキストの第2章第5節を読んでおくこと。
(学習形態(授業の進め方、指導方法))	講義・演習・実技
第13回 授業の計画 (テーマ)	食事に関連したところからのしくみと自立に向けた介護4
(計画内容)	口腔ケアの必要性和その方法を学びます。(五十嵐あけみ)
(授業時間外の学修内容)	指定したテキストの第2章第5節を読んでおくこと。
(学習形態(授業の進め方、指導方法))	講義・演習・実技
第14回 授業の計画 (テーマ)	食事に関連したところからのしくみと自立に向けた介護5

(計画内容)	楽しい食事を阻害する要因と食事に関連する社会参加の留意点を学び、その支援方法を理解します。(五十嵐あけみ)
(授業時間外の学修内容)	指定したテキストの第2章第5節を読んでおくこと。
(学習形態(授業の進め方、指導方法))	講義・演習・実技
第15回 授業の計画 (テーマ)	整容に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護1
(計画内容)	整容に関する基礎知識を学び、その必要性を理解します。(相沢和臣)
(授業時間外の学修内容)	指定したテキストの第2章第3節を読んでおくこと。
(学習形態(授業の進め方、指導方法))	講義・演習・実技
第16回 授業の計画 (テーマ)	整容に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護2
(計画内容)	洗面・整髪などについてその支援方法を学びます。(相沢和臣)
(授業時間外の学修内容)	指定したテキストの第2章第3節を読んでおくこと。
(学習形態(授業の進め方、指導方法))	講義・演習・実技
第17回 授業の計画 (テーマ)	整容に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護3
(計画内容)	衣服の種類と選択に必要な視点、着脱介助の留意点を学びます。(相沢和臣)
(授業時間外の学修内容)	指定したテキストの第2章第3節を読んでおくこと。
(学習形態(授業の進め方、指導方法))	講義・演習・実技
第18回 授業の計画 (テーマ)	整容に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護4
(計画内容)	自立に向けた衣服の着脱について、その支援方法を学びます。(相沢和臣)
(授業時間外の学修内容)	指定したテキストの第2章第3節を読んでおくこと。
(学習形態(授業の進め方、指導方法))	講義・演習・実技
第19回 授業の計画 (テーマ)	整容に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護5
(計画内容)	整容に関連する福祉用具の活用方法について学びます。(相沢和臣)
(授業時間外の学修内容)	指定したテキストの第2章第3節を読んでおくこと。
(学習形態(授業の進め方、指導方法))	講義・演習・実技

第20回 授業の計画 (テーマ)	入浴、清潔保持に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護1
(計画内容)	入浴・清潔保持に関連する基礎知識を学びます。(相沢和臣)
(授業時間外 の学修内容)	指定したテキストの第2章第6節を読んでおくこと。
(学習形態(授 業の進め方、 指導方法))	講義・演習・実技
第21回 授業の計画 (テーマ)	入浴、清潔保持に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護2
(計画内容)	「気持ちのよい入浴」を支援するための方法を学びます。(相沢和臣)
(授業時間外 の学修内容)	指定したテキストの第2章第6節を読んでおくこと。
(学習形態(授 業の進め方、 指導方法))	講義・演習・実技
第22回 授業の計画 (テーマ)	入浴、清潔保持に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護3
(計画内容)	手浴・足浴などの部分浴や清拭の介護方法を学びます。(相沢和臣)
(授業時間外 の学修内容)	指定したテキストの第2章第6節を読んでおくこと。
(学習形態(授 業の進め方、 指導方法))	講義・演習・実技
第23回 授業の計画 (テーマ)	入浴、清潔保持に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護4
(計画内容)	楽しい入浴を阻害する要因の理解と支援方法を学びます。(相沢和臣)
(授業時間外 の学修内容)	指定したテキストの第2章第6節を読んでおくこと。
(学習形態(授 業の進め方、 指導方法))	講義・演習・実技
第24回 授業の計画 (テーマ)	排泄に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護1
(計画内容)	排泄に関する基礎知識を学びます。(相沢和臣)
(授業時間外 の学修内容)	指定したテキストの第2章第7節を読んでおくこと。
(学習形態(授 業の進め方、 指導方法))	講義・演習・実技
第25回 授業の計画 (テーマ)	排泄に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護2
(計画内容)	排泄の自立に向けたトイレでの支援方法、ポータブルトイレでの介護方法を学びます。(相沢和臣)
(授業時間外 の学修内容)	指定したテキストの第2章第7節を読んでおくこと。

(学習形態(授業の進め方、指導方法))	講義・演習・実技
第26回 授業の計画 (テーマ)	排泄に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護3
(計画内容)	ベッド上でのおむつ交換や尿便器での介護方法を学びます。(相沢和臣)
(授業時間外の学修内容)	指定したテキストの第2章第7節を読んでおくこと。
(学習形態(授業の進め方、指導方法))	講義・演習・実技
第27回 授業の計画 (テーマ)	排泄に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護4
(計画内容)	排泄環境の整備と関連する用具の活用方法を学びます。(相沢和臣)
(授業時間外の学修内容)	指定したテキストの第2章第7節を読んでおくこと。
(学習形態(授業の進め方、指導方法))	講義・演習・実技
第28回 授業の計画 (テーマ)	排泄に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護5
(計画内容)	爽快な排泄を阻害する要因の理解と支援方法を学びます。(相沢和臣)
(授業時間外の学修内容)	指定したテキストの第2章第7節を読んでおくこと。
(学習形態(授業の進め方、指導方法))	講義・演習・実技
第29回 授業の計画 (テーマ)	睡眠に関したところとからだのしくみと自立に向けた介護1
(計画内容)	睡眠の必要性と睡眠に関する基礎知識を学びます。(五十嵐修平)
(授業時間外の学修内容)	指定したテキストの第2章第8節を読んでおくこと。
(学習形態(授業の進め方、指導方法))	講義・演習・実技
第30回 授業の計画 (テーマ)	睡眠に関したところとからだのしくみと自立に向けた介護2
(計画内容)	睡眠環境の整備と関連する用具の活用方法を学びます。(五十嵐修平)
(授業時間外の学修内容)	指定したテキストの第2章第8節を読んでおくこと。
(学習形態(授業の進め方、指導方法))	講義・演習・実技
第31回 授業の計画 (テーマ)	睡眠に関したところとからだのしくみと自立に向けた介護3
(計画内容)	快い睡眠を阻害する要因の理解と支援方法を学びます。(五十嵐修平)

(授業時間外の学修内容)	指定したテキストの第2章第8節を読んでおくこと。
(学習形態(授業の進め方、指導方法))	講義・演習・実技
第32回 授業の計画 (テーマ)	死にゆく人に関したところとからだのしくみと終末期介護1
(計画内容)	終末期から死までの身体機能の変化を理解し、状況に合わせた対応を学びます。(五十嵐修平)
(授業時間外の学修内容)	指定したテキストの第2章第9節を読んでおくこと。
(学習形態(授業の進め方、指導方法))	講義・演習・実技
第33回 授業の計画 (テーマ)	死にゆく人に関したところとからだのしくみと終末期介護2
(計画内容)	死に直面したときの人の心理状況について理解し、心の変化の受け止め方を学びます。(五十嵐修平)
(授業時間外の学修内容)	指定したテキストの第2章第9節を読んでおくこと。
(学習形態(授業の進め方、指導方法))	講義・演習・実技
第34回 授業の計画 (テーマ)	介護過程の基本的理解1
(計画内容)	介護過程の目的と意義、その展開方法を学びます。(本間美幸)
(授業時間外の学修内容)	指定したテキストの第3章第1節を読んでおくこと。
(学習形態(授業の進め方、指導方法))	講義・演習
第35回 授業の計画 (テーマ)	介護過程の基本的理解2
(計画内容)	事例演習により、介護過程の展開方法を学びます。(本間美幸)
(授業時間外の学修内容)	指定したテキストの第3章第1節読んでおくこと。
(学習形態(授業の進め方、指導方法))	講義・演習
第36回 授業の計画 (テーマ)	介護過程の基本的理解3
(計画内容)	事例演習により、介護過程の展開方法を学びます。(本間美幸)
(授業時間外の学修内容)	指定したテキストの第3章第1節を読んでおくこと。
(学習形態(授業の進め方、指導方法))	講義・演習
第37回 授業の計画 (テーマ)	介護過程の基本的理解4

(計画内容)	介護過程とチームアプローチについて学びます。(本間美幸)
(授業時間外の学修内容)	指定したテキストの第3章第1節を読んでおくこと。
(学習形態(授業の進め方、指導方法))	講義・演習
第38回 授業の計画 (テーマ)	総合生活支援技術演習1
(計画内容)	事例を通じて、利用者の心身の状況に合わせた介護を提供する視点を学びます。(五十嵐修平、本間美幸)
(授業時間外の学修内容)	指定したテキストの第3章第2節を読んでおくこと。
(学習形態(授業の進め方、指導方法))	講義・演習・実技
第39回 授業の計画 (テーマ)	総合生活支援技術演習2
(計画内容)	事例を通じて、利用者の心身の状況に合わせた介護を提供する視点を学びます。(五十嵐修平、本間美幸)
(授業時間外の学修内容)	指定したテキストの第3章第2節を読んでおくこと。
(学習形態(授業の進め方、指導方法))	講義・演習・実技
第40回 授業の計画 (テーマ)	総合生活支援技術演習3
(計画内容)	事例を通じて、利用者の心身の状況に合わせた介護を提供する視点を学びます。(五十嵐修平、本間美幸)
(授業時間外の学修内容)	指定したテキストの第3章第2節を読んでおくこと。
(学習形態(授業の進め方、指導方法))	講義・演習・実技
第41回 授業の計画 (テーマ)	総合生活支援技術演習4
(計画内容)	事例を通じて、利用者の心身の状況に合わせた介護を提供する視点を学びます。(五十嵐修平、本間美幸)
(授業時間外の学修内容)	指定したテキストの第3章第2節を読んでおくこと。
(学習形態(授業の進め方、指導方法))	講義・ふり返し
第42回 授業の計画 (テーマ)	振り返り1
(計画内容)	初任者研修全体を通して学びを振り返り、介護職に求められるものは何かを考えます。(五十嵐修平)
(授業時間外の学修内容)	指定したテキストの第3章該当箇所を読んでおくこと。
(学習形態(授業の進め方、指導方法))	講義・演習・グループワーク

第43回 授業の計画 (テーマ)	振り返り2																							
(計画内容)	初任者研修全体を通して学びを振り返り、介護職に求められるものは何かを考えます。(五十嵐修平)																							
(授業時間外 の学修内容)	指定したテキストの第3章該当箇所を読んでおくこと。																							
(学習形態(授 業の進め方、 指導方法))	講義・演習・グループワーク																							
第44回 授業の計画 (テーマ)	就業への備えと研修終了後における継続的な研修																							
(計画内容)	介護職として継続的に学ぶべきことを考え、研修終了後における継続的な研修の事例を紹介し、介護職として継続的に学ぶべきことを考えます。 (五十嵐修平)																							
(授業時間外 の学修内容)	指定したテキストの第3章該当箇所を読んでおくこと。																							
(学習形態(授 業の進め方、 指導方法))	講義・演習・グループワーク																							
第45回 授業の計画 (テーマ)	初任者研修修了試験																							
(計画内容)	初任者研修関連4科目で学んだことの修得状況を確認します。(本間美幸)																							
(授業時間外 の学修内容)	指定したテキスト第1巻、第2巻を読み、初任者研修関連4科目全体の復習をすること。																							
(学習形態(授 業の進め方、 指導方法))	ふり返り																							
テキスト	<table><tr><td>No.</td><td>著者</td><td>出版年</td><td>書籍名</td><td>出版社</td><td>ISBN</td></tr><tr><td>1.</td><td>太田貞司他編</td><td>2023 年</td><td>『介護職員初任者研修テキスト1』</td><td>中央法規出版</td><td>9784805887813</td></tr><tr><td>2.</td><td>太田貞司他編</td><td>2023 年</td><td>『介護職員初任者研修テキスト2』</td><td>中央法規出版</td><td>9784805887820</td></tr></table>						No.	著者	出版年	書籍名	出版社	ISBN	1.	太田貞司他編	2023 年	『介護職員初任者研修テキスト1』	中央法規出版	9784805887813	2.	太田貞司他編	2023 年	『介護職員初任者研修テキスト2』	中央法規出版	9784805887820
No.	著者	出版年	書籍名	出版社	ISBN																			
1.	太田貞司他編	2023 年	『介護職員初任者研修テキスト1』	中央法規出版	9784805887813																			
2.	太田貞司他編	2023 年	『介護職員初任者研修テキスト2』	中央法規出版	9784805887820																			
参考書	<table><tr><td>No.</td><td>著者</td><td>出版年</td><td>書籍名</td><td>出版社</td><td>ISBN</td></tr><tr><td>1.</td><td colspan="5">講義時に説明します。</td></tr></table>						No.	著者	出版年	書籍名	出版社	ISBN	1.	講義時に説明します。										
No.	著者	出版年	書籍名	出版社	ISBN																			
1.	講義時に説明します。																							
成績評価 の方法 (評価の 配分%)	筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他																		
		30 %	30 %		40 %																			
(評価方法 補足)																								
課題に関するフ ィードバックの 方法	授業進行に合わせて、修得した介護技術の確認と講評をします。																							
実務経験と 授業の関連	<table><tr><td colspan="6">該当</td></tr><tr><td>経験内容</td><td colspan="5">相沢和臣・五十嵐あけみ・五十嵐修平・本間美幸／介護福祉士</td></tr><tr><td>科目との関連</td><td colspan="5">相沢和臣・五十嵐あけみ・五十嵐修平・本間美幸／介護福祉士としての経験を活かし、生活支援技術を教授する。</td></tr></table>						該当						経験内容	相沢和臣・五十嵐あけみ・五十嵐修平・本間美幸／介護福祉士					科目との関連	相沢和臣・五十嵐あけみ・五十嵐修平・本間美幸／介護福祉士としての経験を活かし、生活支援技術を教授する。				
該当																								
経験内容	相沢和臣・五十嵐あけみ・五十嵐修平・本間美幸／介護福祉士																							
科目との関連	相沢和臣・五十嵐あけみ・五十嵐修平・本間美幸／介護福祉士としての経験を活かし、生活支援技術を教授する。																							
資格・免許	[健]介護職員初任者研修_必修																							
質問への 対応	初回講義時に具体的に説明します。																							

その他	介護職員初任者研修課程のオリエンテーションに必ず出席して下さい。 原則、1回でも欠席すると資格取得ができなくなる可能性がありますので十分注意してください。 生活支援技術の確実な習得のために、学生同士で協力して自主練習に励んでください。
更新日時	2024/03/04 15:14